

校長 梶本 久子

おだやかな春の日差しに誘われて、校庭の桜や花壇の菜の花が美しく咲きそろいました。11日の入学式で57名の入学児童を迎えて、全児童394名で新年度がスタートします。教職員も異動があり、顔ぶれがかわり、新しい船出です。

さて、3月の終業式に来た子供たちの顔はニコニコで、とても輝いていました。

運動場で遊ぶ子供たちのはじける笑顔を見ると、学校の存在意義の大切さを教職員一同、改めて感じ、身の引き締まる思いでいます。

本校は、子供たちが「なかよく学ぶ学校」、地域の皆様に「信頼していただける学校」をめざしています。

今年度も昨年度同様、始業式のあいさつで、

- ① くらすのみんなと仲よくしよう
- ② すてきな挨拶を 自分から、見守り隊の方、地域の方、誰にでもしていこう
- ③ 미래の自分にむかって「いい言葉」をつかっていこうと話しました。

子供たちが今以上に仲良くなって、この楠見小学校で学んで良かったなと思えるような1年にしていきたいです。そして、私たちも子供たちにはもちろん、地域の方に出会ったら、挨拶をして交流を深めていきたいと思っています。

学校の中で子供たちの生活の中心は、年間で約1000時間実施する「授業」です。授業は単に教科書の内容を指導するだけではありません。様々な体験、様々な人・もの・こととの関わりなどを通して「人と関わる力」「自ら学ぶ力」「相手を思いやる力」などの必要な力が身に付くよう指導していきます。

4年前から「ふるさと楠見で学ぶ」ということをどの学年も1年間通して取り組んでいます。地域の方にいろいろなことを教えてもらった子供たちは大きく成長しました。子供たちの成長には驚かされることばかりです。その大切な成長の過程に、子供たちとかかわれることの喜びと重責を感じながら、今年度も「ふるさと楠見・ふるさと和歌山に学ぶ」ことを大切に、職員一丸となって取り組んでいきます。ふるさとに学ぶ目的を、子供たちときちんと共有し、実のある教育活動ができますよう、地域の皆様には、今年度もご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

これからも、家庭、地域、学校がひとつになって、楠見の歴史や伝統を受け継ぎ、子供たちの健やかな成長に全力をつくしてまいります。

どうぞ子供たちのために、地域の皆様方のお力をお貸しくださるようよろしくお願いいたします。